

## 横浜みなと博物館リニューアルオープン

横浜みなと博物館は、横浜観光の中心的な場所であるみなとみらい地区にある博物館です。2022年6月28日に館内をリニューアルしました。展示テーマは「歴史と暮らしの中の横浜港」。国内有数の港である横浜港の歴史と仕組み、役割をわかりやすく伝えることを目指しています。

今回のリニューアルは横浜市により実施され、バーチャル・リアリティなどの最新技術を使った話題性のある展示が多く導入されました。以前より、来館者が博物館内で参加・体験することのできる展示が増え、横浜港の魅力を自らの体験の中で楽しく学び取れるようになりました。

新しい展示では、大型の映像が多用されています。特に人気を集めているのが、大型スクリーンに、ペリー艦隊来航時の日米の折衝の様子や横浜開港の歴史などがアニメーションで映し出される「黒船来航映像」と、今回のリニューアルでの最大の目玉となるVR(バーチャル・リアリティ)シアター「みなとカプセル」です。

特にVRシアターは横7m、奥行き3.5m、高さ3m四方のLEDパネルで囲まれたスペースに、帆船日本丸のあゆみや総帆展帆の様子を上空から見た映像などが映し出され、来館者は映像の中に入りこむ没入感を楽しむことができます。

このほか、世界最高水準の技術を誇る横浜港のコンテナ貨物の積みおろし作業が体験できる「ガントリークレーンシミュレーター」が新しく導入されました。現在、世界中の港では貨物の多くがコンテナで運ばれ、私たちの生活に非常に密着した技術です。このシミュレーターでは、自分でガントリークレーンを操縦し、船からトレーラーへのコンテナの積みおろしを体験することができます。

また、新しく「埋立と築港の技術と歴史」展示室が設置されました。埋立や築港の技術は横浜港の発展を支えました。新しい展示室には、専門的な内容もイメージしやすいようプロジェクション・マッピング等を導入しています。

今回のリニューアルでは、博物館に併設の柳

原良平アートミュージアムも約200点の展示作品を入れ替え、2016(平成28)年にご遺族から横浜市に寄贈された5,000点近い作品の数々が見ていただけます。

これからも横浜みなと博物館は新しい展示で、日々変化し、発展していく横浜港を知っていただくことを目指していく予定です。



黒船来航映像 模型の上にも映像が映し出されている



5面のLED画面で迫力の映像が楽しめる

横浜みなと博物館 横浜市西区みなとみらい2-1-1

TEL 045-221-0280 FAX 045-221-0277

<https://www.nippon-maru.or.jp/>

月曜休館(祝日の場合は開館、翌平日休館)

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)